

日本医師会生涯教育講座 (3.5単位 cc:4, 6, 10, 15, 80, 84)
(公財)日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度(2単位)
日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師制度(5単位)

がん疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会 ～症例から適正使用を学ぶ～

開催のご案内

主催 厚生労働省
公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター
後援 公益社団法人 日本医師会
一般社団法人 日本病院会
公益社団法人 全日本病院協会
公益社団法人 日本薬剤師会
一般社団法人 日本病院薬剤師会
公益社団法人 日本看護協会
公益社団法人 大阪府医師会
大阪府
協賛 麻薬生産者協会

厚生労働省及び(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターでは、関係団体のご支援、ご協力のもと、医療関係者の方々にWHO方式がん疼痛治療法の全国への均てん化と更なる向上を目指して、医療用麻薬の適正な使用を推進することを目的に、専門家の先生方を講師にお迎えして、下記のとおり講習会を開催することといたしました。

多数の皆様のご参加をいただけますようご案内申し上げます。

記

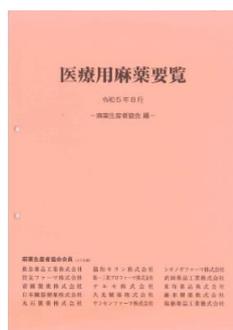
- 日時 2024年1月27日(土) 午後1時～午後5時30分
- 会場 難波御堂筋ホール
大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング
- 内容
 - 講演 「痛みの評価と患者の病態に合わせた医療用麻薬の選択」
青森県立中央病院 副院長 的場 元弘 先生
 - 講演 「～患者情報と製剤特性からみる～
医療用麻薬の服薬指導と薬学的管理」
長崎大学病院 薬剤部 麻薬管理室長・緩和ケアチーム
龍 恵美 先生
 - 講演 「痛みを緩和する看護ケア」
辻仲病院柏の葉 看護部長 柏谷 優子 先生
 - 講演 「疼痛緩和の原点に戻ろう。在宅緩和ケアの現場で学んだこと。」
ふじ内科クリニック院長 内藤 いづみ 先生
 - 講演 「医療用麻薬の適正管理について」
大阪府 健康医療部 生活衛生室 薬務課 麻薬毒劇物グループ
塚中 万里子 先生
 - 質疑応答パネルディスカッション
講演者及び厚生労働省麻薬行政担当官
- 対象者 医療関係者(1,050人) ※会場定員(250人)、オンライン定員(800人)

5 参加費 無料

※会場参加者には講習会テキスト（レジメ集）の他に以下の資料を配布いたします。



医療用麻薬適正使用
ガイドンス



医療用麻薬要覧

6 協賛 麻薬生産者協会

（救急薬品工業、協和キリン、塩野義製薬、第一三共プロファーマ、住友ファーマ、武田薬品工業、帝國製薬、テルモ、東和薬品、日本臓器製薬、久光製薬、藤本製薬、丸石製薬、ヤンセンファーマ、祐徳薬品工業）

7 参加申し込み

麻薬・覚せい剤乱用防止センターホームページよりお申し込みください。
1月25日（木）12時まで受け付けます。

8 会場参加における留意事項

- 1) 開催2日前にQRコードを記載した会場受付用メールをお送りしますので、プリントアウト又は画面表示により当日の受付を行います。
- 2) 日本薬剤師研修センターの研修受講単位の交付を希望される方は、**薬剤師研修・認定電子システム（PECS）に登録後**、各自の「薬剤師メニュー」の「QRコード」を印刷して会場に持参し、受付時と終了時の2回読み取りを行ってください。
- 3) 日本緩和医療薬学会の単位は、当日の受講履歴及び学会・会員番号等を確認の後、学会LMS事務局よりシステムに登録されます。

9 オンライン講習会の留意事項

- 1) WEB会議ツールとして「Zoom」を使用します。
- 2) 開催2日前に講習会参加用URLを記載したオンライン受付用メールをお送りします。
- 3) 日本薬剤師研修センター研修受講単位の交付は、交付希望者ごとに**当日の受講履歴を視聴ログで照合**し、その後、受講確認用キーワードの確認を行った後「単位交付対象者リスト」に搭載し、当該リストを薬剤師研修センターに報告します。
なお、薬剤師研修センターへの報告日は希望者の方々にメールで連絡します。
- 4) 日本緩和医療薬学会の単位は、**当日の受講履歴を視聴ログ等で照合**した後、学会・会員番号等を確認の後、学会LMS事務局よりシステムに登録されます。

10 お問い合わせ先

公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター（松本、白井）
電話 03-5544-8436